



カケハシ・プロジェクト（米国） アメリカで沖縄の未来を考える（TOFU）プログラムの記録

1. プログラム概要

【目的・概要】

「アメリカで沖縄の未来を考える」（TOFU: Think of Okinawa's Future in the United States）プログラムは関係者との意見交換や各種視察等を通じ、英語を用いて様々な分野について学ぶ教育機会を提供することを目的として、沖縄の将来を担う高校生・専門学校生・大学生 30 名を米国ワシントン D.C. 及びニューヨーク市へ派遣しました。米国滞在中は、様々な機関への訪問や学生との相互交流を通じ、参加者自身がグローバルな視点で日米同盟を見つめ、その意義を様々な実体験に根差した形で再認識することで、日本の政治・経済・社会・文化・歴史・外交政策等に関する理解を深めました。また、参加者は米国滞在中に交流先で出会った人々に向けて日本や沖縄の魅力を発信するとともに、プログラムでの学びや日本の外交政策・魅力を伝えました。

【参加者】沖縄出身の高校生 18 名、専門学校生 2 名、大学生 10 名 合計 30 名

【訪問地】東京都、コロンビア特別区（ワシントン D.C.）、ニューヨーク州ニューヨーク市

【日程】

■ プレプログラム（オンライン事前学習）：

2 月 24 日（月曜日） 【渡航前オリエンテーション】事業目的・ミッション、日程説明、
渡航上の注意、感染症対策等

■ 派遣プログラム：

3 月 19 日（水曜日） 【表敬訪問】外務省 北米局長 有馬 裕 氏
【表敬訪問】外務省 北米局審議官 熊谷 直樹 氏
在日米国大使館 公使参事官 アーロン・スナイプ 氏
在日米軍 副司令官 ジョージ・B・ラウル 氏
【表敬訪問】内閣官房長官 林 芳正 氏
【表敬訪問】外務大臣 岩屋 毅 氏

3 月 20 日（木曜日） 羽田空港より出国、ワシントン・ダレス国際空港より米国入国
【表敬訪問】メイジー・ヒロノ上院議員事務所、ティム・ケイン上院議員事務所
所及びジル・トクダ下院議員事務所補佐官他
【視察】アメリカ合衆国議会議事堂
【表敬訪問】アメリカ合衆国国務省 国務次官補代理 ロバート・ケプキ 氏

3 月 21 日（金曜日） 【学校交流】Columbia Heights Educational Campus
【表敬訪問】在アメリカ合衆国日本国大使館 駐米大使 山田 重夫 氏
【講義】戦略国際問題研究所（CSIS）
講師：戦略国際問題研究所 副所長 ニコラス・セチェイニー 氏

- 3 月 22 日（土曜日） 【視察】アーリントン国立墓地
 【学校交流】ジョージタウン大学
 【視察】全米日系米国人記念碑
 コロンビア特別区（ワシントン D.C.）からニューヨークへ移動
- 3 月 23 日（日曜日） 【視察】自由の女神像（スタテンアイランドフェリー乗船）
 【視察】国立 9.11 メモリアル
 【視察】タイムズスクエア
 【視察】イントレピッド海上航空宇宙博物館
 【ワークショップ】帰国後のアクション・プラン準備（プログラムの学びや気づきのまとめ、帰国後の活動計画（アクション・プラン）の作成）
- 3 月 24 日（月曜日） 【表敬訪問】ジャパン・ソサエティー理事長 ジョシュア・ウォーカー 氏
 【表敬訪問】
 在ニューヨーク日本国総領事館 総領事 森 美樹夫 氏
 ニューヨーク日系人会 副会長 スーザン・マコーマック 氏
 米日カウンスル ケイ・マキシ 氏
 【表敬訪問】
 国連オペレーション支援局上席プログラム・マネージャー 伊東 孝一 氏
 【表敬訪問】
 国際連合日本政府代表部 特命全権大使・次席常駐代表 御巫 智洋 氏
 【表敬訪問】国際連合日本政府代表部 公使（政務部長） 入谷 貴之 氏
 【視察】国際連合本部見学ツアー
 【ワークショップ】帰国後のアクション・プラン準備（プログラムの学びや気づきのまとめ、帰国後の活動計画（アクション・プラン）の作成）
- 3 月 25 日（火曜日） ジョン・F・ケネディ国際空港（ニューヨーク州ニューヨーク）より米国出国
- 3 月 26 日（水曜日） 羽田空港より入国

2. 記録写真

派遣プログラム

	
2025 年 3 月 19 日【表敬訪問】 外務省 北米局長 有馬 裕 氏	2025 年 3 月 19 日【表敬訪問】 外務省 北米局審議官 熊谷 直樹 氏、在日米国大使館 公使参事官 アーロン・スナイプ 氏、在日米軍 副司令官 ジョージ・B・ラウル 氏

	
2025 年 3 月 19 日【表敬訪問】 内閣官房長官 林 芳正 氏	2025 年 3 月 19 日【表敬訪問】 外務大臣 岩屋 毅 氏
	
2025 年 3 月 20 日【表敬訪問】メイジー・ヒロノ 上院議員事務所、ティム・ケイン上院議員事務所 及びジル・トクダ下院議員事務所補佐官他	2025 年 3 月 20 日【視察】 アメリカ合衆国議会議事堂
	
2025 年 3 月 20 日【表敬訪問】アメリカ合衆国 務省 国務次官補代理 ロバート・ケプキ 氏	2025 年 3 月 21 日【学校交流】Columbia Heights Educational Campus
	
2025 年 3 月 21 日【表敬訪問】在アメリカ合衆国 日本国大使館 駐米大使 山田 重夫 氏	2025 年 3 月 21 日【講義】戦略国際問題研究所 副 所長 ニコラス・セチェイニー 氏



2025 年 3 月 22 日【視察】アーリントン国立墓地



2025 年 3 月 22 日【学校交流】ジョージタウン大学



2025 年 3 月 24 日【表敬訪問】ジャパン・ソサエティー 理事長 ジョシュア・ウォーカー 氏



2025 年 3 月 24 日【表敬訪問】在ニューヨーク日本国総領事館 総領事 森 美樹夫 氏、ニューヨーク日系人会 副会長 スーザン・マコーマック 氏、米日カウンシル ケイ・マキシ 氏



2025 年 3 月 24 日【表敬訪問】
国連オペレーション支援局上席プログラム・マネージャー 伊東 孝一 氏



2025 年 3 月 24 日【表敬訪問】
国際連合日本政府代表部 特命全権大使・次席常駐代表 御巫 智洋 氏



2025 年 3 月 24 日【視察】
国際連合本部見学ツアー



2025 年 3 月 24 日【ワークショップ】

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 大学生

視察・訪問先での交流を通じて、日本の信頼構築の方法に注目が集まっていることに気づきました。日本が独自の強みを生かし、戦略的パートナーシップを築くことで、短期的な効果は見えにくくても、中長期的には大きな力を発揮できることを実感しました。日本の外交の特徴をより深く理解する大きな学びとなりました。また、日本の若者が政治にどのように関与すべきか、そしてなぜ関与することが重要なのかについて考える機会となりました。日本の未来において、若者の政治参加が果たす役割の大きさを認識する大きな学びとなりました。

◆ 大学生

ジョージタウン大学の訪問で、国際政治学専攻の大学院生や教授とお話できたのはすごく良かったです。行政の立場からではなく、有識者の立場からの見方を率直に聞くことができて楽しかったです。CSIS では多くの質問をすることができて、個人的な学びを深めることができました。外務省の方や官房長官、外務大臣など、政治と行政に関わる方に意見を聞くことができて貴重な体験になりました。

◆ 高校生

沖縄移民との交流を通して、沖縄のバックグラウンドを持った方が米国で活躍していると知ることができて自分の可能性を広げることができました。また、国連に訪問した際に、一つの議題に世界中の人が相互の状況を理解しながら取り組む姿を目の当たりにし、将来、自分もこのような取り組みをしたいと思いました。

◆ 高校生

現地の学生さんとも交流してお互いの文化について理解し合えたことが良かったです。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 交流校教師

普段は授業に参加しない、静かで控えめな生徒も、自発的に日本の生徒たちを手助けし、積極的に参加しているのを見て、とても感動しました。皆が日本の生徒たちを案内するのを楽しんでいて、日本の生徒たちも沢山の褒め言葉をくれたので、自分たちの学校に誇りと感謝の気持ちを持つことができました。

◆ 交流校生徒

学生たちが積極的にコミュニケーションを取ってくれて、きちんと自己紹介をしてくれたことや、彼らの学校と私たちの学校の違いを説明してくれたことがとても良かったです。

5. 参加者の対外発信（抜粋）、報道記事等



2025 年 3 月 29 日（Instagram）

大学生

外務省主催の TOFU（Think of Okinawa's Future in the U.S.）プログラムに参加してきました。

約 1 週間、東京と米国にて、政府・官僚やシンクタンクの方々などと意見交換を行い、日米関係、特に安全保障について学びました。

プログラムを通して、私はずっと「国際社会における沖縄の役割」について考えていました。

米軍基地の存在が原因となる課題が沢山ありますが、改善の為に尽力している政府の方々がいるのも事実だと感じました。

だから沖縄に生きる私たちは、日本政府や軍を非難するのでも、黙って全て受け入れるのでもなく、もっと能動的に、日本全国、そして米国の人々と問題を共有して、一緒に解決を目指していくべきだと強く感じました。

とはいえ、根っからの平和主義者の私にとって、世界がリアリズム（敵が存在することを前提にして、軍備によって抑止力を保持することで攻撃を防ぐ）の考え方ありきで動いていることは純粹に悲しかったです。

私の考える沖縄の役割とは、やはり悲惨な沖縄戦を経験したからこそ、平和を希求する想いを発信し続けることだと思います。これだけは沖縄が、日本が、忘れてはいけないことです。（中略）

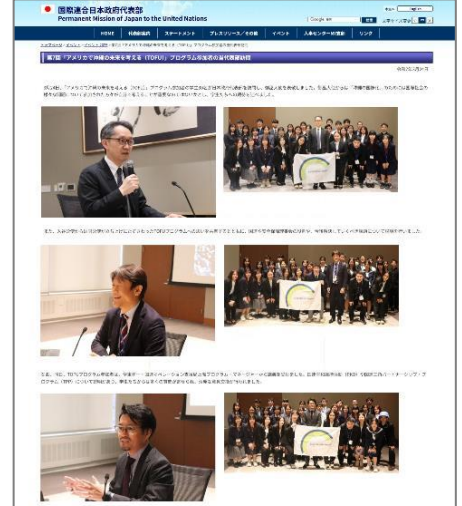
最後に、今回 TOFU プログラムに参加して 1 番嬉しかったのは、基地問題や平和について、同世代と率直に議論できたことです。

色々な意見の人がいて、正直な思いを話しあって、一緒に「どうしていけばよいか」を考える経験は、物凄く意味のあることでした。

加えて、素晴らしいメンバーたちとの出会いに感謝します。年上にも年下にも、尊敬する人が沢山います。この 8 日間は、自分の視野の狭さと英語力の低さを痛感した期間でもありました。

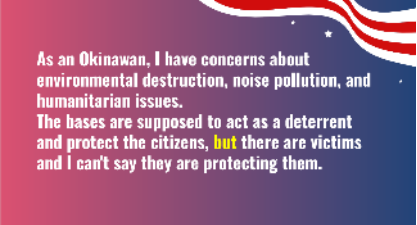
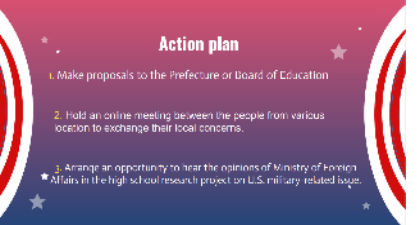
私も、もっと頑張らなくてはと思いました。米国はとても楽しかったです！

	
2025 年 3 月 24 日 (Instagram) 大学生 在ニューヨーク日本国総領事館を訪問しました。素晴らしいアドバイスをもらい、刺激を受けました。新しいことにチャレンジする意欲が湧いてきました。地元沖縄を大切にしていきたいと思います。本当にありがとうございました。	2025 年 3 月 30 日 (Instagram) 高校生 TOFU プログラムに参加することで、相互理解の重要性を学びました。日本と米国の政府関係者やプログラム参加者との議論を通じて、様々な視点を理解し、自分の意見を振り返る貴重な機会を得ました。学んだことを基に、沖縄と米国をつなぐ架け橋になりたいです。
	
2025 年 3 月 19 日 (Instagram) 高校生 今日は外務省に行きました。グループのメンバーとも会いました！みんな積極的に質問をしていました。質問のほとんどは沖縄の基地に関するもので、米国が沖縄で大きな役割を果たしていることを改めて実感しました。最も興味深かったのは、米国人が私たちをどう見ているか、また日本の新しい視点を知ることができたことです。初日から充実した一日でした！	2025 年 3 月 22 日 (Infoseek ニュース) 「『TOFU』参加の沖縄県の学生、ワシントンで専門家と意見交換…台湾有事など安全保障問題を議論」

 「アメリカで沖縄の未来を考える」 プログラム参加の学生、意見交換会に臨む 在NY日本総領事館は3月24日、「アメリカで沖縄の未来を考える（TOFU: Think of Okinawa's Future in the US）」プログラムで来米中の沖縄の学生らを大使公邸に招き、意見交換会を開催。森経領事・大使の他に、ともに沖縄にルーツを持つニューヨーク日英人会のスーザン・ミヤギ・マコーマック副会長、米日カウンシル・メンバーの菅志恵氏がゲストスピーカーとして参加した。	
2025 年 3 月 28 日（よみタイム） 「『アメリカで沖縄の未来を考える』プログラム参加の学生、意見交換会に臨む」	2025 年 3 月 24 日（国際連合日本政府代表部の HP） 第 7 回「アメリカで沖縄の未来を考える（TOFU）」プログラム参加者の当代表部訪問

6. アクション・プラン（抜粋）

全 5 グループ発表

グループ 3		
		
【成果の発表】 日米協力によるグローバルサウスへの投資として、米国が十分な関係を築けていない国に対し、日本が橋渡し役となること、日本の関与により投資の受け入れが円滑化すること、単独投資よりも効果的な国際貢献が可能であることなど、戦略的な役割分担が国際協力の成功の鍵であると学びました。 「安全保障のための米軍基地」と「沖縄県民の基地に対する認識」にギャップがあり、県外の人に基地の問題意識を共有するとともに、沖縄の人も感情的な部分を克服する必要があると再認識しました。 【アクション・プラン】 1. 自分たちが持つ問題意識に対するアプローチについて、県や教育委員会へ提案を行います。 2. 各地の人々がオンライン会議を開き、地域の懸念に関して意見交換します。 3. 高校の研究プロジェクトで米軍関連の問題について外務省の意見を聞く機会を設けます。		

グループ 5



【成果の発表】

今後の沖縄の将来は常に変化していき、その中で私たちが未来のためにできることは何なのか深く考えさせられました。日米の両方の立場で考えて、日米同盟を理解することが重要だと感じました。結論ありきで答えを出すのではなく、具体的にどのような行動をするのかを考える必要があると学びました。

【アクション・プラン】

日米関係の理解へのアプローチ

- ・市町村の議員や市長、町長との懇談会の実施（米軍との交流事業の提案、意見交換等）
- ・中学生へのプレゼンテーションの実施
 - － 日米同盟・基地問題への理解を深めてもらいます。
 - － グローバルな視点での考え方の大切さ（沖縄に米軍基地がある理由や、日米同盟の重要性）を伝えます。

実施団体：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）